

鹿児島高専

# 地域共同テクノセンター広報誌 研究シーズ集

2014年版

2014年11月発行

## 地域共同テクノセンター広報誌

### 目 次

	頁
1. ご挨拶	1
(1) 鹿児島工業高等専門学校長 丁子 哲治	1
(2) 地域共同テクノセンター長 宮田 千加良	2
2. センターの概要	3
(1) スタッフ	3
(2) 組織図	4
(3) センター内設備配置	5
(4) 設備一覧	5
3. 研究活動	8
(1) 共同研究	8
(2) 受託研究	8
(3) 受託試験	8
(4) 寄附金	9
(5) 科学研究費	10
(6) 技術相談	10
4. 産学官連携	11
(1) 鹿児島高専発 県民のための新技術セミナー	11
(2) 第 12 回全国高専テクノフォーラム	12
(3) ソフトプラザかごしま 「鹿児島高専産学官連携推進室」	12
(4) 1 年生工場見学	13
(5) 事業報告 (平成 25 年度～26 年度)	13

5. 錦江湾テクノパーククラブ (K T C)	16
(1) 錦江湾テクノパーククラブ 会長挨拶	17
(2) 内容紹介	17
(3) 事業内容	18
(4) 平成 25 年度活動内容	18
(5) 平成 26 年度活動内容	20
(6) 錦江湾テクノパーククラブ規約	21
(7) 技術交流会	22
(8) 会員名簿	23
(9) 会員の分布	23
(10) 例会・講演会一覧	24
(11) K T C事務局	25
6. センターの利用について	25

---

### 錦江湾テクノパーククラブ (KTC) 会員企業紹介

---

### 研究シーズ

## 1. ご挨拶

### (1) 鹿児島工業高等専門学校長 丁子 哲治

高等専門学校は、わが国経済の高度成長を背景に、産業界からの強い要望に応えるため、実践的技術者の養成を目指し、中学校卒業者を入学資格とする5年制の高等教育機関として学校教育法の改正により、制度化された高等教育機関である。昭和36年の学校教育法改正により創設され、鹿児島高専では、昭和38年に最初の学生を受け入れて、昨年度に50周年の節目を迎えたところである。当時はわずか数%の大学進学率だった時代に、大学卒業と同等の専門能力をもつ技術者を養成し、産業界への人材供給を担ってきたが、高専創設の原点は「産業界のための高専」とも言える。

しかしながら、高専制度は設立以来いろいろな面で曖昧な点が多かったことは事実である。このことは、ようやく平成15年に成立した「独立行政法人国立高等専門学校機構法」の中で明確にされた。同法の第3条に高専機構の目的として、高等学校―大学のラインとは異なる複線化の一方であることが示されている。さらに、その双方が均衡して発展することが求められている。

次に、第十二条には業務の範囲が示されている。その中で高専は企業等との共同研究や共同教育、さらに社会貢献としての公開講座などを行わなければならないことが明記され、高専の創設以来、高専が研究を行う高等教育機関であることが、この法律で初めて明文化された。一方、国立大学法人法と比較してみると、両者は一見して同じように見えるが、よく見ると大きな違いがあることが分かる。両者とも業務の範囲に共同研究や公開講座等が謳われているが、国立高専機構法では「職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成する・・・(後略)」という目的達成のためという条件付きである。すなわち、人材育成を目的とした産学共同研究を行うことが高専の使命であることが分かる。以上のように、高専は大学とは若干異なる産学連携の取り組み方をすることになる。

高専1校あたりの民間企業との共同研究件数の推移について全国の地区ごとにまとめた平成15年度から平成22年度までのデータがある。ほとんどの地区ともに右肩上がりで増加しているが、九州・沖縄地区では平成15年度では他の地区に対して最大の共同研究件数を誇っていたにもかかわらず、平成22年度では5位に転落している。最近の経済状況に地域の偏りがあるのであろうか。鹿児島高専では、平成18年度以来、経済産業省の中小企業の技術者の育成事業を始めとして、いくつもの事業に取り組んできた経緯があるが、今後一層の継続発展が必要となろう。

高専は産業界の強力な要請によって設立されたと言われているが、その要請に応えるためには、産学連携による高専の教育研究の活性化ばかりではなく、高専のもつ人材育成の面からは、地域に優秀な人材を供給することも求められている。しかしながら、全国の多くの高専では、地元就職率が10%以下という、学生が必ずしも地域に就職しないというジレンマを抱えている。人口当たりの中小企業数は都道府県別にみても大きな差異はないが、全産業に対する製造業の割合は都道府県によって顕著な違いがあり、九州・沖縄地区は全国平均を下回る。

このような現状を踏まえて人材育成を考えると、高専教育に必要なことは、創造的にものを作れる(Inovation)，また、海外でも活躍できる(Globalization)，地球の資源やエネルギーには限界があることが理解できている(Sustainability)，女性も男性も違いなく働ける，場合によってはいろいろな障害を持った人も一緒に働く(Diversity)というキーワードを教育に盛り込んでいかなければならぬと考えられる。こうした取り組みには、地域社会と協働することが必要であり、高専創設の原点である「産業界のための高専」をもう一度見直した取り組みが必要であると考える。世界の人口が70億人を超えた今日、その中でもアジアの人口が半分を超える。高専も地域産業界との連携を図りながら、このような国際社会にも対応できる人材育成をしていかなければいけない。

是非とも、地域の産業界には鹿児島高専の産学連携に絶大なるご支援を賜りたい。



## (2) 地域共同テクノセンター長 宮田 千加良

鹿児島高専「地域共同テクノセンター」は、鹿児島県を基盤とする企業(主に錦江湾テクノパーククラブ(KTC)会員企業)や行政機関(国、県、市町村等)などと連携し、企業との共同研究や技術相談、地域企業の技術者の人材育成事業、本校の学生に対するインターンシップなどによる地域企業との共同教育を行うための拠点施設です。本校がこれまでに蓄積した研究成果を元に、共同研究、技術相談、技術者教育を集約的に行うことにより地域の技術力を高め、地域産業の振興・活性化を支援し、地域の経済力の向上に貢献することを目的としています。本センターは「地域交流部門」「共同研究部門」「創造工房部門」「研究促進部門」の4部門を設け、地域の中小企業及び行政と連携して、共同研究や技術相談、技術者の再教育機能を強化し、産学官連携機能や地域の活性化を図っています。また、本センターは、鹿児島高専の支援組織である「錦江湾テクノパーククラブ」の事務局としての役割も担っています。このように、本センターは、鹿児島高専の研究機能と技術教育機能、地域との産学官連携機能、地域の人材輩出を担い、その一元化を図っていることに特色があります。

平成26年度の地域共同テクノセンターは、センター長、副センター長、前述の4部門の部門長の5名(副センター長は創造工房部門長を併任)、およびテクノセンターの各部門を支援する産学官連携コーディネーターと事務部職員を中心に運営しています。

本年度は、新たな試みとして教職員の企業見学やKTC会員企業の企業パンフレットの作成を実施しております。また昨年度から始めた本科1年生の工場見学や、一昨年から始めたKTC会員企業による企業紹介も実施予定です。なお企業紹介につきましては、就職に関する日程の変更に伴い、実施時期の検討を現在行っています。

このように今年度も「地域に技術で貢献」を合言葉に、KTC会員企業との更なる連携を深めながら、地域共同テクノセンターの活動をより活発に行っていく所存ですので、ご協力、よろしくお願ひいたします。



【教職員の企業見学の様子】



## 2. センターの概要

### (1) スタッフ

地域共同テクノセンター長（併任）

電子制御工学科 教授 宮田 千加良

地域共同テクノセンター副センター長（併任）

電子制御工学科 准教授 島名 賢児

地域共同テクノセンターは、「地域交流部門」、「共同研究部門」、「創造工房部門」〔研究促進部門〕の4部門を設けています。地域の中小企業を対象として、技術相談や共同研究などの产学連携機能や、技術者の再教育機能を強化して、地域産業の活性化に寄与とともに、ものづくり基盤技術の教育研究機能を高め、より高度な専門性、創造性を持った実践的技術者の養成を図っています。言い換えると、本センターは研究機能と教育機能とを融合させて、その一元化を図っていることに特色があります。



地域交流部門長（併任）

一般教育科理系 准教授 野澤 宏大

地域交流部門は、鹿児島高専と地域企業および行政機関等を含めた产学研官協同推進の窓口となっています。产学研官の間で情報交換を積極的に行う傍ら、高専における実験・実習、卒業研究、および教育研究等で培われた技術開発力と人材教育能力を生かして、地域企業からの技術相談に応じ、それらを解決するための共同研究や受託研究等の推進を行っています。また、中小企業技術者の人材育成事業や新しい知識・技術習得を目的とした新技术セミナー、および公開講座の開設等を企画しています。さらに、地域企業へのソフト・ハード両面にわたる支援を行うと同時に、双方向の交流を深めることにより、地域に開かれたセンターを目指しています。



共同研究部門長（併任）

電気電子工学科 講師 前薗 正宜

共同研究部門では、学際的なグループ研究やプロジェクト研究の推進、センターを利用した共同研究の活動の効率化・迅速化、地域企業の技術相談・技術交流会を行っています。また、学内・学外共同研究に関する分野で、共同研究機器を活用し、施設設備の有効利用を図り、学際的・広域的研究を推進し、研究活動の効率化・迅速化を目指しています。また、学外に対するシーズの公開・ニーズの発掘の活性化を図っています。



創造工房部門長（併任）

電子制御工学科 准教授 島名 賢児

創造工房部門では、従来の知識偏重の教育を改め、基本に徹し、考える教育とものづくり教育を主体とした実践的創造教育によって、創造性・独創性豊かな開発型技術者を育成します。平成9年度のカリキュラム改訂時に全学科に正式に導入し、低学年からものづくりや実習の経験ができる高専制度を生かして、考える教育とものづくり教育からなる創造技術教育を支援しています。

## 研究促進部門長（併任）

情報工学科 准教授 豊平 隆之

平成18年度に4つ目の部門として研究促進部門が設置されました。研究促進部門は、共同研究部門とともに、学内外の研究活動を活性・促進するための業務を行っています。特に、研究促進部門では科学研究費補助金等の外部資金による研究助成金の獲得件数の増進を図るほか、「鹿児島高専産学官連携推進室」であるソフトプラザかごしまの維持管理を行っています。



## 産学官連携コーディネーター

地域社会・産業界等から、大学・高専等へ求められる産学官連携活動の展開はますます重要な意味を持ってきていると同時に、社会からさらに大きく期待されています。文部科学省が推進する産学官連携活動の推進と同時に、独自に地域産学官の連携、共同研究・人材育成事業の充実等の推進を担う役割を着任しています。

鹿児島高専が地域社会からさらに信頼され、地域社会・産業界等との連携を通じて、地域社会の発展・活性化に貢献することを目的としています。

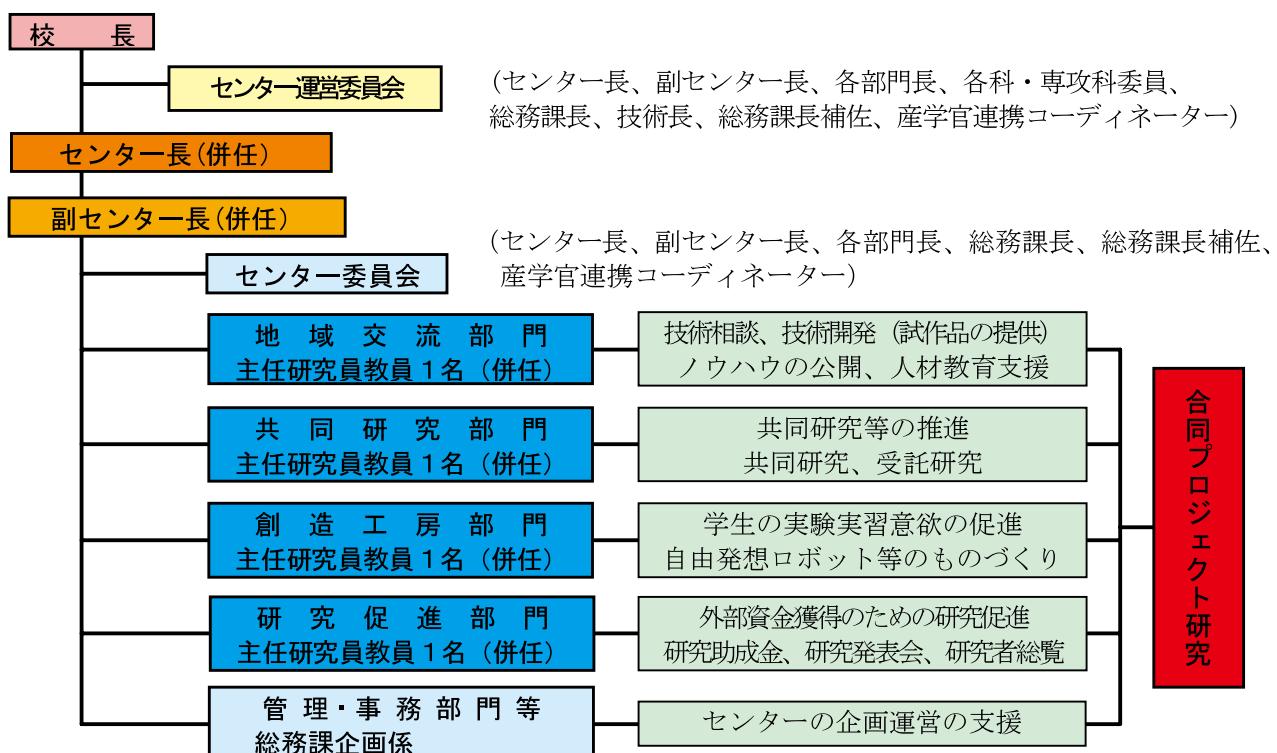
## 地域共同テクノセンター 客員教授 遠矢 良太郎

工業技術センター所長、文部科学省産学官連携コーディネーターを経験。産業界と高専・大学の先端・先進の「知」がうまく融合するようにマッチングし、行政や金融界の支援も得て、鹿児島の産業力強化に貢献するよう努力したいと思います。



## 管理・事務部門等（総務課企画係）

### （2）組織図



### (3) センター内設備配置

センターは新增面積が 410m<sup>2</sup> の 2 階建で、センターの案内は図 1 の通りです。

①試作実験室：機械等の試作や材料等の試験を行います。

②相談室：受付と技術相談等に応対します。

デジタルマイクロスコープを設置しています。

③分析・解析室：分析・評価機器を設置し、各測定機器の測定を行います。

④共同研究・受託研究室：共同研究、受託研究を実施するとともに、各種セミナーや技術研修会等を実施できる多目的な機能を備えています。

1階ホールには、研究成果等の展示やセミナー等の開催情報を提供するスペースも準備されています。



### (4) 設備一覧

センターの機器設備を下表に示します。これまでの地域企業からの技術相談等を見ますと、試作や測定評価の技術相談が多数寄せられました。このことから試作のための工作機械と測定機器を重点的に設置しております。

番号	品名（規格）	機器の説明
1	マシニングセンタ (立型マシニングセンタ V33 型 ：牧野フライス)	最高主軸回転速度 2 万 min <sup>-1</sup> の超高速高精密加工ができる最新のマシニングセンタです。試作製品の加工や技術相談で活用します。 
2	ガスクロマトグラフ 質量分析装置 (GCMS QP-5050Aw : 島津製作所)	混合物を分離する手法として非常に優れた能力を持っており、今日科学に関連した分野において最も重要な分析装置です。環境汚染の原因となる埋め立て地の浸出排水や土壤中の水質、地下水等の分析ができます。 

3	レーザ可視化システム 水冷 Ar レーザー 可視化用工学ベース レーザーライトシートプローブ GLG3282 BG504 LVS (日本カノマックス)	微粒子を混入させた水や空気の流れにレーザ光源から発せられた薄いシート状の光を当てて流れを可視化するものです。この可視化情報を画像処理することにより、流体の流れを詳しく調べることができます。	
4	レーザー回折式粒度分布 測定装置 (Malvern マスター サイザー 2000: Sysmex)	液中・気中に係わらず光の回折と散乱減少から粒子の分布を計測する装置です。 マスター サイザー 2000 は最新の光学技術の採用により、0.02~2,000 μm 測定範囲を一度にフルカバーします。	
5	微小硬さ試験機 (MVK-H2 : アカシ)	加工面のごく表層の硬度解析に用い、フィルムのような薄物、針金のような細物、キーなどの傾斜のついたものにも対応します。また、加工面だけでなく、メッキや蒸着などのコーティング評価にも利用できます。	
6	走査電子顕微鏡 (JSM-6010LA : 日本電子)	マルチタッチテクノロジと最新の操作ソフトにより、モニタを見ながら直感的操作を実現できます。また、初めて SEM を使う方にも分かりやすく、高画質での SEM 観察と EDS 元素分析が容易です。	
7	工業用走査型 レーザ顕微鏡 (OLS2000 : Olympus)	レーザビームを試料上に走査し、その反射光を検出することにより、微小な形状測定ができます。高集積半導体パターンの線幅測定、欠陥観察、磁気ヘッドの各部測定などに活用できます。	
8	材料強度解析システム (YU-2000, AC-1000 : J T トーシ)	2000kN の JIS 引張・圧縮・曲げ試験、1000 kN の異形棒鋼曲げ試験が可能です。丸棒なら直径51mmまでの試験が可能です。	

9	デジタルマイクロスコープ  (KEYENCE VHX1000, VH-Z100W, VH-Z500W)	100～5000 倍の観察が可能であり、簡単なマウス操作により、画面上でリアルタイム計測ができます。また、従来の光学顕微鏡では不可能な全焦点画像と 3D 表示での観察が可能です。	
10	大判プリンタ  (image PROGRAF W6400 : Canon)	A1 版までのフルカラープリントが可能です。各種ポスターや催事の垂幕など、大形の印刷物の作成に活用できます。ネットワークに接続されており、校内のパソコンから直接印刷できます。	
11	高速画像処理システム  (KEYENCE XG-8000)	CCD カメラ(200 万画素)により撮影した対象物を画像処理により、高精細に検査を行うことができます。複数カメラによる同時撮像により、複数方向からの検査に対応します。	
12	ハイスピード マイクロスコープ  (KEYENCE VW-9000)	最大 230,000 コマ／秒での高速動画の撮影が可能です。動きの変化量を数値化することができます。より詳細に対象物の解析を行うことができます。	

### 3. 研究活動

#### (1) 共同研究

件数 10 件、総額 665 万円 (平成 25 年度)

	学 科	学内代表者	研 究 題 目
1	電気電子工学科	楠原 良人	蓄電機能を持つクロスフロー型水車によるマイクロ水力発電装置の開発
2	電子制御工学科	島名 賢児	工作機械設計の標準化に関する研究
3	機械工学科	江崎 秀司	管群を直交する流れの蒸気流動特性及び低温再生器用伝熱管の沸騰特性の解析、高温再生器用伝熱管の伝熱特性の解析、水室部の圧力損失特性の解析
4	機械工学科	小田原 悟	設計教育向けマイクロ風力発電システムの開発とそれを利用した技科大-高専教育研究ネットワークの推進
5	電気電子工学科	中村 格	科学支援ネットワーク活動による高専-技科大連携教育支援体制の構築
6	都市環境 デザイン工学科	山田 真義	中温及び高温UASB反応器の多点分散供給技術によるアルカリ度削減運転
7	都市環境 デザイン工学科	山内 正仁	黒糖焼酎粕・バガス培地を用いたきのこ(キクラゲ)栽培による島内のカリウム低減化に関する研究
8	機械工学科	田畠 隆英	拡散制御および方向制御を目的としたノズルから流出する噴流の流動特性の定量計測
9	機械工学科	小田原 悟	小型風車による発電電力で水電解水素を発生させる際の効率向上に関する研究
10	都市環境 デザイン工学科	山内 正仁	鹿児島県産未利用資源を活用した高機能集魚材料の開発

#### (2) 受託研究

件数 2 件、総額 329 万円 (平成 25 年度)

	学 科	学内代表者	研 究 題 目
1	都市環境 デザイン工学科	池田 正利	流下土砂を用いた海洋コンクリートの適用に関する基礎調査業務
2	都市環境 デザイン工学科	岡松 道雄	平成 25 年度木のあふれる街づくり事業モデル製品製作・設置業務

#### (3) 受託試験

- a. コンクリート圧縮試験
  - ・件数 793 件(総本数 4,572 本)
  - ・総額 10,058,400 円
- b. 金属材料引張試験
  - ・件数 7 件(総本数 36 本)
  - ・総額 176,400 円
- c. 金属材料曲げ試験
  - ・件数 0 件

#### (4) 寄附金

件数 21 件、総額 1,474 万円（平成 25 年度）

	学 科 等	学内代表者	寄附金の名称	寄 附 者
1	校長	赤坂 裕	都市環境デザイン工学科の教育研究助成	平田 登基男
2	機械工学科	三角 利之	三角・研究助成金	株式会社テクノ二十一グループ
3	学生課	永松 巍	舍監および寮母等経費	鹿児島高専学生課長
4	校長	赤坂 裕	鹿児島工業高等専門学校教育・研究助成金	鹿児島高専後援会
5	電気電子工学科	楠原 良人	楠原・公開講座に関する研究助成金	NPO 法人まあちゃんのモノ作り育英会
6	都市環境 デザイン工学科	山内 正仁	山内教員への研究助成金（八光工業）	八光工業株式会社
7	都市環境 デザイン工学科	山内 正仁	山内教員の研究活動に対する助成	東洋ツール工業株式会社
8	校長	赤坂 裕	課外活動支援経費助成金：後援会	鹿児島高専後援会
9	情報工学科	幸田 晃	幸田・情報工学科の研究助成金	株式会社アール・エー・ビーサービス
10	機械工学科	塚本 公秀	研究成果の国際交流への研究助成	塚本 公秀
11	一般教育科理系	大竹 孝明	九州沖縄地区高専フォーラム運営のための助成金	日本化学会九州支部 日本教育公務員弘済会鹿児島支部
12	校長	赤坂 裕	霧島チャレンジャーの運営助成金	塚崎 香織
13	校長	赤坂 裕	赤坂 裕 校長の工学に関する研究助成	赤坂 裕
14	機械工学科	小田原 悟	小田原・工学に関する研究助成金	小田原 悟
15	情報工学科	原 崇	原・情報工学科の教育研究助成	株式会社気象データシステム
16	校長	赤坂 裕	課外活動支援経費助成金：後援会	鹿児島高専後援会
17	校長	赤坂 裕	学生寮舍監及び寮母等経費	鹿児島高専学生課長
18	都市 デザイン工学科	山内 正仁	都市環境デザイン工学科研究に関する研究助成	鹿児島県碎石協同組合連合会
19	電気電子工学科	楠原 良人	桜島降灰による太陽光発電への影響の調査・研究助成金	リニューアブル・ジャパン株式会社
20	校長	赤坂 裕	学生寮舍監及び寮母等経費	鹿児島高専学生課長
21	地域共同テクノ センター長	宮田 千加良	地域共同テクノセンターへの研究助成金	錦江湾テクノパーククラブ

## (5) 科学研究費

件数 5 件、総額 611 万円（平成 25 年度）

	学 科	学内代表者	研 究 題 目	研究種目
1	情報工学科	武田 和大	初等・中等教育における理科・環境教育のための気象データ活用ソフトウェアの開発研究	若手研究 (B)
2	一般教育科文系	鞍掛 哲治	入学前教育時の自己決定理論を基盤とした ICT 学習支援システム・(英語) 教材の開発	基盤研究 (C)
3	一般教育科文系	松田 信彦	多変量解析による中国古典籍の分析に基づく日本古典への影響についての基礎的研究	挑戦的萌芽
4	都市環境 デザイン工学科	前野 祐二	しらすを主原料とした多目的透水性舗装材料の開発	基盤研究 (C)
5	一般教育科理系	池田 昭大	磁気圏－電離圏－地上 3 領域からの脈動伝搬解明	若手研究 (B)

## (6) 技術相談

### a. 件数の推移

- ・平成 21 年度 . . . . . 34 件
- ・平成 22 年度 . . . . . 38 件
- ・平成 23 年度 . . . . . 55 件
- ・平成 24 年度 . . . . . 51 件
- ・平成 25 年度 . . . . . 53 件

### b. 相談内容（平成 25 年度）

- ・トラブル対策 . . . . . 11 件
- ・試験方法、現象説明理論 . . . . . 34 件
- ・業者紹介 . . . . . 1 件
- ・協力依頼 . . . . . 7 件

## 4. 産学官連携

大学・高専等の高等教育機関に求められる最も重要な活動は、次の時代を背負って立つべき学生の教育養成と先進的な研究活動でしたが、現在は社会の要求に沿って、地域人材の育成と研究成果の社会への還元があげられます。鹿児島高専もこの方針に則り、地域共同テクノセンターを中心に産学官連携に関する多くの活動を展開しています。本項では、鹿児島高専が積極的に推進している産学官連携活動の近況について報告をします。

### (1) 鹿児島高専発 県民のための新技術セミナー

鹿児島県では中小企業が非常に多く、自社の特徴を活かしたオリジナル製品の開発を積極的に行っていけるような企業を増やすことが地元の発展につながると考えています。そのために鹿児島高専が地元中小企業にとってどのような存在であるべきかを日頃から地域共同テクノセンターでは考えています。例えば、共同研究や技術相談などで貢献することにより、地元中小企業が新しい事業へ展開していくことや、困っている技術的な問題を解決につながることも大切な役割の一つだと考えています。そのためには企業と本校教員のマッチングがうまくいくことが重要です。したがって、本校の教員がどのような技術シーズを持っているのか地元企業の方々に知っていただく機会を作る必要があると考えています。

そこで平成23年度から、鹿児島県内に在住のスキルアップを目指している社会人の方を対象に鹿児島高専の持つ先端的、先導的な研究・開発技術をベースに、受講生の技術力向上を目的として、高専教員の専門性を活かした講演とデモにより、新技術をスポット的に公開し、技術のスキルアップを目指していただくため、さらには本校の教員の技術シーズを広く地域の方々に知っていただく機会として、毎年、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「鹿児島高専発 県民のための新技術セミナー」を実施してきており、平成26年度についても引き続き平成26年9月20日（土）に鹿児島市のかごしま県民交流センターで開催しました。実施方法は例年通り、午前の講演と午後からの実験デモを行いました。今回の内容は下表のように機械や電気電子、情報の内容について講演やデモを行いました。技術室から永田氏、清水氏がスタッフとして参加し、その他、本科学生、専攻科生にも手伝ってもらいました。

地元の方々に本校の技術シーズを知ってもらう非常に良い機会であると考えておりますので、来年度以降も新たな試みを取り入れながら開催していく予定です。本取り組みへのご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

所属・教員名	講演内容
1 電子制御工学科 島名 賢児	3DCAD/CAE 技術の活用 3Dプリントの紹介
2 電気電子工学科 楠原 良人	燃料電池発電とその活用技術
3 電気電子工学科 中村 格	AE 診断技術・静電気応用技術
4 情報工学科 原 崇	スマートファンのCPU利用及び情報収集の技術
5 電気電子工学科 枝 健一	電磁的雑音(ノイズ)に関する技術
6 電子制御工学科 宮田 千加良	衛星画像とその活用技術



## (2) 第 12 回全国高専テクノフォーラム

全国高専の産学官連携活動を一堂に会して紹介する「全国高専テクノフォーラム」は平成 15 年から開催されてきました。目的は産学官連携・地域貢献活動を推進している多くの国立私立高専の教職員、産学官連携を支援する公的支援機関、企業関係者等の意見交換を通じて、関係者の人的ネットワーク構築や産学官連携活動のさらなる深化を目指すためのフォーラムです。

平成 26 年 8 月 21 日（木）に北海道札幌市にある札幌コンベンションセンターで開催された第 12 回全国高専テクノフォーラムの統一テーマは「未来を築く力」でした。

今回の特別講演は、北海道大学名誉教授で 2010 年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章氏が講演されました。鈴木氏のお話で「日本のような資源に乏しい国は付加価値の高いものを作り、世界中の人に使ってもらうことが重要である。」と語られ、「鈴木・宮浦カップリング」を発表されたことについてお話をされました。講演後に企画された鈴木氏と高専若手教員とのディスカッションでは、高専教員の「研究に対してどのようにモチベーションを維持したか？」という質問に対して「成功しないことが多いが、自分は何が好きかということを常に考えることが大切である。」と答えられていました。その後の基調講演では、株式会社阿寒グランドホテル代表取締役社長の大西雅之氏が「観光を軸とした地域振興」という内容について講演されました。北海道における観光を軸とした地域振興についてエリア別の観光ビジョンを紹介され、今後の北海道について熱く語られていました。

そのほか、産学連携活動報告やパネルディスカッション、パネル展示が開催され、活発な議論がなされていました。



鈴木章氏の講演



大西雅之氏の講演



産学連携活動報告

## (3) ソフトプラザかごしま「鹿児島高専産学官連携推進室」

ソフトプラザかごしまは、情報関連企業の育成支援や中小企業の情報化、情報関連企業の誘致などを促進するための拠点施設として平成 13 年に開設されました。「産学官」の「産」として情報関連ベンチャー企業約 15 社、「学」として鹿児島大学、鹿児島工業高等専門学校、「官」として鹿児島市が入居する 5 階建てのインテリジェントビルです。本校は、オープン当初から「鹿児島高専産学官連携推進室」として入居し、技術相談、共同研究、産学連携等の打合せ、セミナーを実施し、地域への貢献に努めています。今年度も、KTC 役員会・例会や中学生向け公開講座といった鹿児島市で開かれる催しの会場としての利用や、かごしま IT フェスタへの参加といった活動を行っています。

### 【かごしま IT フェスタ】平成 25 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）

「かごしま IT フェスタ」の主催であるソフトプラザかごしま運営委員会の 1 団体として、かごしま IT フェスタの企画・運営に毎年携わっています。さらに、当日の展示ブース出展、高専工作教室を実施しました。工作教室は九州パワーアカデミーとの共催で、初級編「とことこペンギン工作教室」、中・上級編「スペースロボ 7 工作教室」の 2 講座を開催しました。講師担当の本校電気電子工学科の中村教員、前薗教員、技術室の永田技術職員、松尾技術職員に加え、電気電子工学科 5 年生、専攻科電気情報システム工学専攻の数名の学生の補助を得て実施され、大変好評でした。鹿児島高専の展示ブースでは、電子制御工学科の宮田先生ならび学生に UFO キャッチャーロボを展示、実演して頂きました。子供たちに大変人気がありました。また、IT フェスタのイベントの一つである ET ロボコン IT フェスタ杯にも本校の学生チームが出場し、IT フェスタを盛り上げました。

#### (4) 1年生工場見学

本科1年生を対象としたキャリア教育の一環として、平成26年1月14日（火）に工場見学（企業見学）を実施しました。この企画は、本校学生に地元企業の存在やその業務内容を知ってもらうことを主な目的としており、今回初めて行った試みです。各学科の訪問企業は以下の表に示す通りで、本校をバスで出発し、午前中のうちに1社ないし2社を訪問するという内容でした。学生アンケート（回答者198名）では、88%の学生から「訪問企業に興味を持てた」との回答があり、59%の学生が「訪問企業のような業種で働きたい」との回答がありました。今回の企画に概ね満足できたと回答した学生は92%（満足45%、やや満足47%）にのぼり、企画の趣旨としては成功したと言えます。今回得られたいくつかの不満意見（見学時間の短さ）を踏まえ、地域共同テクノセンターでは、今後も1年生工場見学を継続していく予定です。



学科	訪問企業
機械	株式会社藤田ワークス 国分電機株式会社
電気電子	株式会社エルム
電子制御	株式会社トヨタ車体研究所（ものづくり維新館） 株式会社藤田ワークス
情報	株式会社YPK 株式会社トヨタ車体研究所（ものづくり維新館）
都市環境デザイン	鎌田建設株式会社

#### (5) 事業報告（平成25年度～26年度）

平成25年度から平成26年度にかけて地域共同テクノセンターが実施した事業について主要な事業項目と概要を以下に報告します。

<平成25年4月～平成26年3月>

##### 1. 2013 NEW環境展

日 時：平成25年5月21日（火）～24日（金）

場 所：東京ビッグサイト

概 要：本校から「全国KOSEN廃石膏ボードリサイクルネットワーク」の一員として、前野教員が出展した。

## 2. 南九州発新技術説明会

日 時：平成 25 年 6 月 18 日（火）

場 所：科学技術振興機構 JST 東京本部別館ホール

概 要：鹿児島大学、鹿屋体育大学、宮崎大学、鹿児島高専、都城高専の 5 機関が参加し開催された。

本校からは都市環境デザイン工学科山内教員が発表し、宮田センター長が鹿児島高専の产学官連携活動の紹介を行った。

## 3. 第 11 回全国高専テクノフォーラム

日 時：平成 25 年 8 月 20 日（火）

場 所：愛知県産業労働センター

テーマ：「一高専制度創設 50 年、さまざまな絆で新たな発展ー」

出席者：宮田センター長、島名副センター長、野澤地域交流部門長、遠矢 CD、大竹教員、楠原教員

## 4. 科学研究費鍛成塾

日 時：平成 25 年 9 月 3 日（火）

場 所：鹿児島工業高等専門学校

講 師：長岡技術科学大学 姫野 修司 准教授

概 要：科学研究費の採択率向上を目的として開催し、申請書類への助言をいただいた。

## 5. 鹿児島高専発「県民のための新技術セミナー」

日 時：平成 25 年 9 月 14 日（土）

場 所：かごしま県民交流センター

概 要：かごしま県民大学連携講座として、県内在住のスキルアップを目指している社会人の方を対象に開催した。県内企業 12 社から 19 名の参加があった。

## 6. 九州沖縄地区 KOSEN 新技術マッチングフェア 2013（「モノづくりフェア 2013」と併催）

日 時：平成 25 年 11 月 13 日（水）

場 所：にマリンメッセ福岡

概 要：本校からは都市環境デザイン工学科山内教員が発表した。

## 7. センター広報誌・研究シーズ集の発行

2013 年度版のセンター広報誌・研究シーズ集を平成 25 年 11 月に発行し、本校教職員をはじめ関係機関などへ配布した。

## 8. かごしま IT フェスタ 2013

日 時：平成 25 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）

場 所：鹿児島アリーナ

概 要：本校は後援機関として参加し、高専展示ブースでのロボット実演や、工作教室を実施し、ET ロボコンかごしま IT フェスタ杯へ出場した。

## 9. 錦江湾テクノパーククラブ会員企業合同セミナー

日 時：平成 26 年 1 月 14 日（火）

場 所：鹿児島工業高等専門学校

概 要：錦江湾テクノパーククラブ会員企業の会社説明を目的とした、鹿児島高専学生に対する企業合同セミナーを実施した。会員企業 16 社が参加した。

## 10. 1年生工場見学

日 時：平成 26 年 1 月 14 日（火）

場 所：県内企業 6 社

概 要：キャリア教育の一環として、本校 1 年生の工場見学を実施した。

## 11. 知的財産関係

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の特許主任調査員との委嘱契約を締結し、平成 26 年 1 月 27 日（月）と平成 26 年 3 月 4 日（火）に特許案件を議題として開催した「研究・知財委員会」へ「知的財産アドバイザー」として参加いただいた。また、平成 26 年 1 月 27 日（月）には特許主任調査員による知財講演会とアイデア（発明）相談会を開催した。

## 12. 各種外部会議

二水会、鹿児島県工業技術センター、かごしま産業支援センター、鹿児島県産業立地課、鹿児島県工業俱楽部、その他テクノセンターの関連会議・セミナー等

## ＜平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月＞

### 1. かごしま小水力発電セミナー

日 時：平成 26 年 5 月 10 日（土）

場 所：かごしま県民交流センター

概 要：かごしま県民大学連携講座として開催し、128 名の参加があった。

### 2. 第 12 回全国高専テクノフォーラム

日 時：平成 26 年 8 月 21 日（木）

場 所：札幌コンベンションセンター

テーマ：「未来を築く力」

出席者：宮田センター長、島名副センター長

### 3. 教職員向け企業見学

日 時：平成 26 年 9 月 8 日（月）～9 日（火）

場 所：KTC 会員企業 2 社

概 要：本校教職員向けの企業見学を実施し、8 日は 19 名、9 日は 17 名が参加した。

### 4. 鹿児島高専発「県民のための新技術セミナー」

日 時：平成 26 年 9 月 20 日（土）

場 所：かごしま県民交流センター

概 要：かごしま県民大学連携講座として、県内在住のスキルアップを目指している社会人の方を対象に開催した。県内の 17 団体から 21 名の参加があった。

## 5. 錦江湾テクノパーククラブ (KTC)



## (1) 錦江湾テクノパーククラブ 会長挨拶

株式会社九州タブチ

代表取締役社長 鶴ヶ野 未央

本年3月に錦江湾テクノパーククラブの会長に就任いたしました鶴ヶ野でございます。まことに微力ではありますが、地域の産業発展に向けて精一杯努力する所存でございますので、皆さま方には宮村前会長と同様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、我が国においては少子高齢化と人口減少が続く中、急速な情報化やグローバル化といった社会環境の変化が進んでおり、ここ鹿児島においても同様な変化に直面していると言えます。また、大都市圏や大企業を中心にアベノミクス効果で明るい兆しは見えつつありますが、我々KTC会員企業を取り巻く地方の経営環境はまだまだ厳しい中により、明確な回復基調を認識できる状況ではありません。さらに、この成熟社会の中であらゆる業種において再編の流れとともに企業規模の縮小・撤退が相次いでおり、生き残りをかけた企業力が問われる時代になってきております。

このような時代の中で、当クラブではより柔軟な発想の転換を実現するために産学官のそれぞれの強み・特徴を生かして、「地域経済・社会動向の変化と課題の確認」、「地域の産業活性化に繋がるお互いのニーズ・シーズの最新情報の共有化」、「地域の特色を生かした技術開発と事業化への展開」など、新たな技術や価値を創造し未来への展望を開くための活動に取り組んで参りました。これからも産学官の意識・目線・行動が一体となり、「チーム鹿児島」としてより強力で密接な連携が重要だと考えております。

今後も会員の皆様からのご意見を参考に、一層「価値ある事業活動の展開」を通じて、鹿児島における産業の活性化と持続的な発展に寄与し、皆さまのご期待にお応えできるよう取り組んで参ります。これまでの、皆さまの一方ならぬご高配に感謝申し上げるとともに、引き続き、ご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## (2) 内容紹介

平成10年3月、国分・隼人テクノポリスを中心とする南九州地域有志企業が、地域との連携強化を学校の理念の一つに掲げている国立鹿児島工業高等専門学校と相図って、産学官交流組織「錦江湾テクノパーククラブ」(通称 KTC) を設立いたしました。鹿児島工業高等専門学校地域共同テクノセンターが、錦江湾テクノパーククラブの窓口として、地域企業の技術向上や鹿児島工業高等専門学校との積極的な産学連携の推進を図っています。錦江湾テクノパーククラブには、平成26年11月現在で38社の会員企業と、鹿児島県商工労働水産部、鹿児島県工業技術センター、かごしま産業支援センター、鹿児島市、霧島市等16の公的機関が特別会員として加入しています。年に3回の例会を開催し、技術講習会、交流会、講演会を行なうなど、本クラブの活動は益々活発になってきています。錦江湾テクノパーククラブを中心とした地域の中小企業が利用している鹿児島工業高等専門学校地域共同テクノセンターは、企業の技術相談や共同研究、技術者のリフレッシュ教育を集約的に行うための拠点施設ともなっています。

### (3) 事業内容

1. 会員企業と鹿児島高専との产学協同の推進により、地域産業の振興と発展に寄与する。
2. 会員企業相互と、鹿児島高専および行政機関等を含めた情報交換の場を提供する。
3. 最新の科学技術や、環境問題などに関する講演会や公開講座を開き、地域の特質を活かした技術の開発とその起業を支援し、国際社会の振興にも貢献する。
4. 会員企業のニーズに応える講座を開設し、21世紀を担う若手技術者の育成を図る。また、リフレッシュ教育講座や各種資格取得に必要な講習会を開催する。
5. 鹿児島高専の教育目標の一つである創造性豊かな開発型人材の養成を目指す地域共同テクノセンターを支援する。

### (4) 平成25年度活動内容

#### 【第1回錦江湾テクノパーククラブ役員会・総会】

日 時：平成25年5月24日（金）14:00～19:00  
場 所：鹿児島工業高等専門学校及びグランラセーレ シエロ  
役員会（14:00～14:30）

議 題 (1) 総会について  
(2) その他

総 会（14:50～15:20）

議 題 (1) 平成24年度事業報告、決算報告及び監査報告について  
(2) 平成25年度事業計画（案）、予算書（案）について  
(3) 役員の交代について  
(4) その他

特別講演（15:30～17:00）

演 題 「全国高専ネットワークによる产学研官連携事業の推進」  
講 師 三島 淳一郎 氏(久留米工業高等専門学校 産学民連携コーディネーター)  
上甲 勲 氏(熊本高等専門学校 九州沖縄地区产学研官連携コーディネーター)

交流会（17:30～19:00）



#### 【第2回錦江湾テクノパーククラブ役員会・例会】

日 時 平成25年9月27日（金）13:45～17:00  
場 所 ソフトプラザかごしま  
役員会（13:45～14:05）

議 題 (1) KTC 第2回例会について  
(2) KTC 第3回例会（案）について  
(3) その他

例 会（14:15～17:00）

講 演 講演I

演 題 「次世代エネルギーを活用したまちづくりについて」  
講 師 向野 陽一郎 氏（薩摩川内市 新エネルギー対策監）

講演II

演 題 「マルヤガーデンズの取組み」  
講 師 玉川 恵 氏（株式会社 丸屋本社 社長）



### 【錦江湾テクノパーククラブ会員企業合同セミナー】

錦江湾テクノパーククラブ会員企業の会社説明を目的とした、主に平成27年3月卒業予定の鹿児島高専学生に対する企業合同セミナーを下記の要領で開催した。

日 時：平成26年1月14日（火） 13:00～16:00

会 場：鹿児島工業高等専門学校 第一体育館

内 容：個別ブースでの会社説明



### 【第3回錦江湾テクノパーククラブ役員会・臨時総会・例会】

日 時：平成26年2月28日（金） 13:00～17:00

場 所：鹿児島工業高等専門学校

役員会（13:00～13:30）

- 議 題：(1)第3回 KTC 例会について
- (2)平成26年度事業計画（案）について
- (3)臨時総会について
- (4)その他

臨時総会（13:40～14:00）

- 議 題：(1)役員の改選について
- (2)その他

例 会（14:00～17:00）

内 容 「鹿児島高専ラボツアー」

主 催 鹿児島工業高等専門学校、  
錦江湾テクノパーククラブ、  
財団法人かごしま産業支援センター

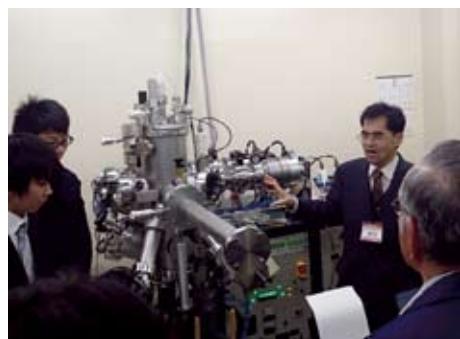
フ ロ グ ラ ム 1. 開会

- 2. 主催者挨拶
- 3. 事前説明
- 4. 研究シーズ紹介

- ①一般教育科（理系・化学） 大竹 孝明 教授  
『竹炭等の自然物を利用した河川等の水質浄化』
- ②機械工学科 椎 保幸 准教授  
『教育・研究における三次元造形装置の活用』
- ③機械工学科 塚本 公秀 教授  
『FEMを用いた構造解析・競技用ソーラーカー・弦楽器』
- ④電子制御工学科 新田 敦司 准教授  
『インクジェット法を用いた透明導電膜に関する研究』

5. 休憩

6. 研究室・実験施設の紹介



## (5) 平成 26 年度活動内容

### 【第 1 回錦江湾テクノパーククラブ役員会・総会】

日 時：平成 26 年 5 月 27 日（金）14:00～19:00

場 所：鹿児島工業高等専門学校及びグランラセーレ シエロ  
役員会（14:00～14:30）

議 題 （1）総会について

（2）その他

総 会（14:40～15:10）

議 題 （1）平成 25 年度事業報告、決算報告及び

監査報告について

（2）平成 26 年度事業計画（案）、予算書（案）  
について

（3）その他

特別講演（15:30～17:00）

講演 I

演 題 「人と組織の成長を目指して」

講 師 鶴ヶ野 未央 氏（錦江湾テクノパーククラブ会長、株式会社九州タブチ 代表取締役社長）

講演 II

演 題 「地域社会のニーズに応える鹿児島高専」

講 師 丁子 哲治 氏（鹿児島工業高等専門学校 校長）

交流会（17:30～19:00）



### 【第 2 回錦江湾テクノパーククラブ役員会・例会】

日 時 平成 26 年 9 月 26 日（金）13:45～17:00

場 所 ソフトプラザかごしま

役員会（13:45～14:05）

議 題 （1）KTC 第 2 回例会について

（2）KTC 第 3 回例会（案）について

（3）その他

例 会（14:15～17:00）

講 演 講演 I

演 題 「才（テクニック）と徳（マインド）の経営を目指して」

講 師 福留 進一 氏（株式会社現場サポート 代表取締役）

講演 II

演 題 「中小企業による「新事業戦略」の展開」

講 師 木村 恭之 氏（日本政策金融公庫 鹿児島支店 中小企業事業 融資課長）



## (6) 錦江湾テクノパーククラブ規約

### (名称)

第1条 本会は、錦江湾テクノパーククラブと称する。

### (目的)

第2条 本会は、国分・隼人テクノポリスを中心とする南九州地域の企業をもって構成し、次の各号を目的として支援活動する。

- (1) 鹿児島工業高等専門学校（以下「鹿児島高専」という。）との産学協同の推進
- (2) 会員企業の技術の向上
- (3) 会員間の交流、親睦

### (事務局)

第3条 本会の事務局は、会長が指定する場所に置く。

### (会員)

第4条 本会の会員は、本会の目的に賛同する次に掲げる会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：一般企業等に属する会員
- (2) 特別会員：本会を指導助言する立場の会員

### (役員)

第5条 本会には、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監査役 2名
- (5) 幹事 若干名
- (6) 顧問 若干名

### (役員の選出及び任期)

第6条 前条第1号から第4号までの役員は、総会において選出する。

- 2 前条第5号、6号の役員は、役員会の推薦により会長が委嘱する。
- 3 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 役員は、任期後も次期役員が決定するまでは、引き続き会務を行うものとする。
- 5 欠員が生じた場合の後任の役員任期は、前任者の残任期間とする。

### (役員の職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、会の運営について重要な事項を企画、立案する。
- 4 監査役は、本会の会計を監査する。
- 5 幹事は、本会の庶務、会計を担当する。
- 6 顧問は、会議に出席して指導助言する。

### (運営費)

第8条 本会の運営費は、年会費、寄附金、その他の収入をもって充てる。

- 2 会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 3 会費は、総会で決定する。

### (会議)

第9条 本会の会議は、総会、役員会及び例会とし、議長は会長をもって充てる。

- 2 議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長が決する。

### (総会)

第10条 総会は、毎年1回開催し、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 当年度の事業報告、会計報告及び監査
- (2) 次年度の事業計画、予算
- (3) 役員の選出
- (4) その他

### (役員会)

第11条 役員会は、必要に応じて会長が召集する。

### (例会)

第12条 例会は、4箇月に1回とする。ただし、特別な場合はこの限りではない。

### (入会及び退会)

第13条 入会は、役員会の承認を必要とし、退会は、本人の申し出により認める。

## (7) 技術交流会

本校の技術交流会では、本校教職員の技術シーズを地元企業の方々に紹介する機会を設け、さらに本校教職員が地元企業を訪問することによって、その後の技術相談や共同研究をより円滑に行っていけるようにすることを目的としている。

	技術交流会名	担当者	実施内容等
1	機械・制御	電子制御工学科 准教授 島名 賢児 准教授 吉満 真一	NC プログラミングから加工に至る NC 工作機械に係わる諸問題について検討する。
		技術室 技術長 山下 俊一 技術職員 松尾征一郎	現在、製品の開発に欠かせなくなってきた CAE による製品の設計に関する諸問題について検討する。
2	電気・情報	電気電子工学科 教 授 中村 格 講 師 前薗 正宜	IT 社会や高齢化社会への移行を踏まえた、使いやすく安全で安定した良質な電力が求められることから、発変電、送配電、絶縁、分散電源、新エネルギーなどの領域に関する諸問題について検討する。
			オブジェクト指向のプログラミング言語 JAVA について、初歩的なプログラミングに関する検討を行う。
		情報工学科 教 授 幸田 晃 教 授 芝 浩二郎	振動・騒音のセンシングと雑音除去の信号処理に関する諸問題や、新たに音・音楽等のロボット開発など、新しい分野での検討を行う。
			ハードウェア記述言語 (VHDL) と設計者が容易に LSI を実装できる FPGA 素子を用いたデジタル回路の設計と実装に関する諸問題について検討する。
			組込システム用マイクロプロセッサ (MPU) を用いたハードウェア設計と実装、具体的な MPU (日立 : H8 シリーズ) を用いた回路とファームウェアの設計及び実装方法等に関する検討を行う。
3	都市環境デザイン	一般教育科理系 教 授 大竹 孝明	「水」に関する幅広い課題や水環境保全等について検討する。
		都市環境デザイン工学科 教 授 西留 清	廃棄物焼却灰や汚泥のリサイクル、廃棄物の地盤材料・コンクリート材料への転用等に関し、コスト面や環境に対する負荷等の諸問題に関して検討する。

## (8) 会員名簿（平成 26 年 11 月現在）

### ○一般会員

飛鳥電気（株）  
 アロン電機(株)  
 (株)エリアトーク  
 (株)ガイアテック  
 鎌田建設(株)  
 (株)鎌田工業  
 (株)九州タブチ  
 (株)キラ・コーポレーション  
 (株)コーワガス日本  
 国分電機(株)  
 (株)相良製作所  
 (株)サンコー  
 (株)信栄製作所鹿児島工場  
 末重建設(株)  
 (株)西栄設備事務所  
 (株)大翔  
 太陽ガス(株)  
 東亞エルメス(株)  
 (有)徳重製菓とらや  
 (株)トヨタ車体研究所  
 (株)南光  
 南生建設(株)  
 南日汽缶工業(株)  
 日本澱粉工業(株)  
 日本有機(株)  
 (株)秦野精密  
 八光工業(株)  
 (株)隼人テクノ  
 フアナック(株)  
 富士ゼロックス鹿児島(株)  
 (株)藤田ワークス  
 (株)プランテムタナカ  
 マトヤ技研工業(株)  
 丸福建設(株)  
 (株) M i s u m i  
 三豊機工(株)  
 南日本審査(株)  
 (株) Y P K

計 38 社（五十音順）

### ○特別会員

鹿児島県商工労働水産部  
 鹿児島県工業技術センター  
 (財)かごしま産業支援センター  
 鹿屋市産業支援センター  
 (社)鹿児島県発明協会  
 (社)鹿児島県工業俱楽部  
 上野原ビジネスプラザ  
 (株)鹿児島頭脳センター  
 (株)鹿児島 T L O  
 (株)鹿児島銀行  
 (株)南日本銀行  
 鹿児島市  
 霧島市  
 曽於市  
 日置市  
 鹿児島工業高等専門学校

計 16 団体

## (9) 会員の分布



## (10) 例会・講演会一覧

年度	例会(日時)	講演題目	講演者
24	第1回(総会) 平成24年5月25日	産学官連携プロジェクトから生まれた新製品・新サービス	北九州工業高等専門学校 制御情報工学科 准教授 久池井 茂 氏
	第2回 平成24年9月28日	エネルギーが創る産学連携	九州経済産業局 総務企画部 総務課長 松田 一也 氏
		低温熱源による小型発電システムの開発と今後の展開	アルバック理工(株) 代表取締役社長 石井 芳一 氏
	第3回 平成25年3月1日	機械機器の安全性・信頼性向上のための設計・メンテナンス技術	鹿児島工業高等専門学校 機械工学科 准教授 小田原 悟
		筋電図を用いたリハビリ診断効果装置の開発	鹿児島工業高等専門学校 電気電子工学科 助教 永井 翠
		気象環境モニタリングのための情報ネットワークシステム	鹿児島工業高等専門学校 情報工学科 准教授 武田 和大
25	第1回(総会) 平成25年5月24日	全国高専ネットワークによる産学官連携事業の推進	久留米工業高等専門学校 産学民連携コーディネーター 三島 淳一郎 氏
			熊本高等専門学校 九州沖縄地区産学官連携コーディネーター 上甲 熱 氏
	第2回 平成25年9月27日	次世代エネルギーを活用したまちづくりについて	薩摩川内市新エネルギー対策監 向野 陽一郎 氏
		マルヤガーデンズの取組み	株式会社丸屋本社 社長 玉川 恵 氏
	第3回 平成26年2月28日	竹炭等の自然物を利用した河川等の水質浄化	鹿児島工業高等専門学校 一般教育科 教授 大竹 孝明
		教育・研究における三次元造形装置の活用	鹿児島工業高等専門学校 機械工学科 准教授 植 保幸
		FEMを用いた構造解析・競技用ソーラーカー・弦楽器	鹿児島工業高等専門学校 機械工学科 教授 塚本 公秀
26	第1回(総会) 平成26年5月27日	インクジェット法を用いた透明導電膜に関する研究	鹿児島工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授 新田 敦司
		人と組織の成長を目指して	錦江湾テクノパーククラブ会長 株式会社九州タブチ 代表取締役社長 鶴ヶ野 未央 氏
	第2回 平成26年9月26日	地域社会のニーズに応える鹿児島高専	鹿児島工業高等専門学校 校長 丁子 哲治
		才(テクニック)と徳(マインド)の経営を目指して	株式会社現場サポート 代表取締役 福留 進一 氏
	第3回 平成27年2月27日	中小企業による「新事業戦略」の展開	日本政策金融公庫 鹿児島支店 中小企業事業融資課長 木村 恭之 氏
		研究シーズツア― 技術相談	未定

## (11) K T C事務局

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1  
鹿児島工業高等専門学校  
地域共同テクノセンター  
(総務課企画係) TEL 0995-42-9038  
FAX 0995-43-4271  
E-mail kikaku@kagoshima-ct.ac.jp

## 6. センターの利用について

センターは、鹿児島工業高等専門学校における次の目的に利用することができます。

- (1) 民間機関等の技術支援及び技術セミナー
- (2) 民間機関等との共同研究・受託研究・受託試験
- (3) 学内共同研究
- (4) 学生の「ものづくり」教育
- (5) 地域共同テクノセンター長が認めた業務

また、センターは技術相談や公開講座などで利用するほか、次に該当する人が利用申請書をセンター長に提出し、その承認を得て利用できるため、企業従事者や一般社会人の方も大いに活用していただけます。

- (1) 民間機関等の技術支援及び技術セミナーに係わる者
- (2) 民間機関等との共同研究・受託研究・受託試験に係わる者
- (3) 本校の教職員及び学生
- (4) その他センター長が特に認めた者



# 錦江湾テクノパーククラブ (KTC) 会員企業紹介



分野 電気通信	企業名  飛鳥電気株式会社	住所：鹿児島市坂之上六丁目 30 番 1 電話：099-262-2777 Fax：099-262-2776 HP：無し
------------	---	--




**主製品（事業内容）**

人工衛星・ロケットと通信するための地上設備のシステム設計、ハードウェア設計、ソフトウェア設計、設備の検査・保守、人工衛星の運用業務

**会社の特徴・PR**

当社は、宇宙地上設備の設計、検査、運用、及び保守までの一貫したサービスの提供による顧客満足を目標として、日々専門知識を持つエンジニアの育成を行っております。

**会社の概要**

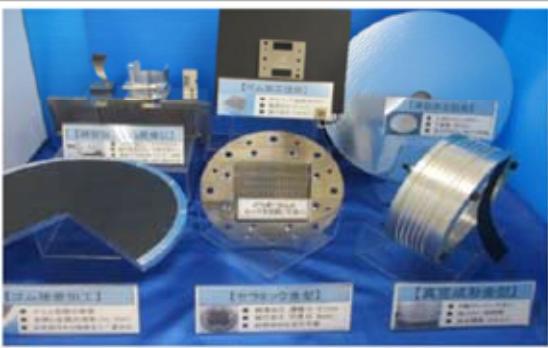
設立／昭和 60 年 9 月 25 日  
資本金／1000 万円  
代表者／代表取締役 鳥越孝一  
従業員数／97 名 うち女性（11 名）  
売上高／8 億（平成 26 年 7 月）  
支店等／東京都内 1、鹿屋市内 1

女性も積極的に採用しています。  
ISO/IEC 27001 認証取得

**最近の採用状況**

6 名 うち女性（2 名）  
鹿児島高専卒業生 有（9）名 うち女性（3 名）

分野 一般機械器具製造業	企業名 アロン電機株式会社	住所：鹿児島県薩摩郡さつま町永野 950 電話：0996-58-0331 Fax：0996-58-0365 HP：www.aron.co.jp
-----------------	------------------	--



**主製品（事業内容）**

- 金型・治工具、装置部品の精密加工
- 半導体製造装置等の製造
- 自動機、省力化機器の開発・製造

**会社の特徴・PR**

創立 43 年目を迎えるさつま町の誘致企業で、半導体製造装置・電子部品・自動車・食品の各業界に部品や装置機器を開発・製造しています。社内は 19 の小さなフラットクロスカメリオン組織で構成されます。フラットは担当から社長まで職制が少なく風通しの良い組織、カメレオンは顧客ニーズに合わせてその色に染まる、クロスはプロジェクトや案件毎に各グループが必要に応じて有機的に結合することを指します。この組織により、お客様の複雑かつ精密なご要望、キーパーツ開発、省力化装置に対しても、多彩な加工技術・画像処理技術で対応しています。

**会社の概要**

設立／1971/2/11  
資本金／3,512 万円  
代表者／代表取締役 坂元 剛  
従業員数／103 名 うち女性（32 名）  
売上高／16 億（2014 年 3 月期）  
支店等／――

**最近の採用状況**

4 名 うち女性（1 名）  
鹿児島高専卒業生 有（1）名

分野 電気電子	企業名 株式会社エリアトーク	住所：霧島市隼人町東郷 1321-1 電話：0995-42-7211 Fax：0995-42-7288 HP : <a href="http://www.satuma-net.com">www.satuma-net.com</a>
------------	-------------------	--



**主製品（事業内容）**

地域情報伝達無線システム  
「エリアトーク」の開発・製造・販売

**会社の特徴・PR**

弊社は、自治会・公民館等の地域コミュニティの無線放送システム「エリアトーク」の開発・製造・販売を行っております。従来の有線放送に替わるシステムとして地域コミュニティ無線放送システムを全国に先駆けて製造・販売を開始。現在では、県内外で幅広くご利用いただいております。 導入実績：戸別受信機 約 140,000 台

**会社の概要**

設立／昭和 63 年 7 月  
資本金／300 万円  
代表者／代表取締役 大田 陽子  
従業員数／9 名 うち女性（2 名）  
売上高／10 億円（平成 25 年度）  
支店等／なし

**最近の採用状況** 1名 うち女性（0 名）

**鹿児島高専卒業生** 無

分野 製造業	企業名  株式会社 ガイアテック	住所：薩摩川内市小倉町5960番地 電話：0996-30-2255 FAX：0996-30-2055 H P : <a href="http://www.gaiatec.jp">www.gaiatec.jp</a>
-----------	--	--



**主製品（事業内容）**

碎石・砂利・砂の採取・販売、生コンクリートの製造・販売、アスファルト合材の製造販売、飲料水の製造・販売、建設業、法定鉱物（貝化石）の採取・販売、産業廃棄物処理業、貝化石を使用した製品の販売 等

**会社の特徴・PR**

県内各地に碎石工場（4工場）、生コン・AS合材工場（7工場）、貝化石工場が点在し、『品質第一』という経営方針の下、長期的に経営を維持発展させ、信用と誇りの持てる品質の製品を造り、豊かな人間社会に貢献します。

**会社概要**

設立 / 昭和35年1月  
資本金 / 1,600万円  
代表者 / 代表取締役 橋口 享兒  
従業員数 / 151名 うち女性10名  
売上高 / 約 66億（第55期）  
支店等 / 薩摩川内市：4工場、鹿児島市・霧島市・志布志市：各2工場、阿久根市・南九州市：各1工場

**最近の採用状況** 5 名

**鹿児島高専卒業生** 有（3名）

分野 建設業	企業名  鎌田建設株式会社	住所：霧島市国分敷根 141 番地 電話：0995-46-3000 Fax：0995-46-3114 HP : <a href="http://www.k-kamada.com/">http://www.k-kamada.com/</a>
-----------	---	--

	<b>主製品（事業内容）</b>
	◎総合建設業 土木工事・舗装工事・造園工事・水道施設工事 建築工事設計、施工・個人住宅建築、リフォーム
<b>会社の概要</b>	<b>会社の特徴・PR</b>
設立／昭和48年4月17日 資本金／4,000万円 代表者／代表取締役 鎌田善政 従業員数／ 67名 うち女性(10名) 売上高／36億(平成26年5月期) 支店等／曾於支店・伊佐支店	◎総合建設業として「おかげさま」の精神のもと、高い技術力と深い信用をもって、地域・取引先・社員の三位一体の繁栄と幸せのため励んでおります。 掃除、献血、ボランティアなど社会貢献活動を積極的に行い、よりよい地域づくりを目指しております。 現在、当社では、設計士など女性の活躍が目立ちます。今後、女性技術者の雇用にも積極的に努めています。
	ISO 9001・ISO 14001認証取得 平成26年度 国土交通省九州地方整備局 工事成績優秀企業
	<b>最近の採用状況</b>
	3名 うち女性(1名)
	<b>鹿児島高専卒業生</b>
	有( 2 )名

分野 建設業 機能性飼料	企業名 株式会社 鎌田工業	住所：霧島市国分川内556-1 電話：0995-47-6050 FAX：0995-46-4711 HP： <a href="http://www.kamada-k.com">www.kamada-k.com</a>
--------------------	------------------	--

	<b>主製品（事業内容）</b>
	・土木・水道事業 ・バイオに係る飼料製作
<b>会社の概要</b>	<b>会社の特徴・PR</b>
設立 / 平成5年5月 資本金 / 3,000万円 代表者 / 代表取締役社長 鎌田 政人 従業員数 / 15名 うち女性(2名) 売上高 / 2.5億 支店等 / 大隅支店	土木・水道事業の他、現在バイオに係る飼料製作(抗生物質フリー)に力を入れております。

分野 一般機械器具製造業	企業名 株式会社九州タブチ	住所：霧島市国分敷根 120 番地 電話：0995-45-1523 Fax：0995-45-6433 HP : <a href="http://www.tabuchi.co.jp">www.tabuchi.co.jp</a>
-----------------	------------------	---



**会社の概要**

設立／昭和 45 年 4 月 28 日  
資本金／5,000 万円  
代表者／代表取締役社長 鶴ヶ野 未央  
従業員数／167 名 うち女性 (42 名)  
売上高／44 億(平成 26 年 3 月期)  
支店等／霧島市内に 2 工場

**主製品（事業内容）**

▶ 給水システム関連商品の開発・製造  
継手・止水栓・サドル分水栓 等

**会社の特徴・PR**

大阪にある鶴タブチの 100% 出資により設立した誘致企業。今年で創立 44 周年を迎える。製造品目としては、各家庭に水を届ける為の給水システム関連商品を取り扱っている。社内には、鋳造・機械加工・表面処理・検査・組立に至るまで一貫した生産工程を保有。材質の違う銅合金を混流生産する技術を駆使しながら日本トップクラスの生産量を実現している。

現在、社員の子ども達が将来働きたいと思ってもらえる魅力的な職場環境を目指し、両立支援及び社員満足度向上活動を展開。2012 年には、次世代育成認定事業主に認定されている。

**最近の採用状況** 4 名 うち女性 (2 名)

**鹿児島高専卒業生** 有 ( 5 ) 名



分野 精密機械 製造業	企業名 株式会社キラ・コーポレーション	住所：愛知県西尾市吉良町富好新田中川並 39-1 電話：0563-32-0100 Fax：0563-32-3241
-------------------	------------------------	---



**会社の概要**

設立／1927 年 7 月  
資本金／7500 万円  
代表者／代表取締役 大竹 健二  
従業員数／128 名 うち女性 ( 17 名)  
売上高／38 億円(平成 25 年 12 月期)  
支店等／国内営業所 2 箇所、アメリカ・タイに現地法人

**主製品（事業内容）**

▶ マシニングセンタ、ポール盤の製造及び販売

**会社の特徴・PR**

私ども、キラ・コーポレーションは、地域産業を中心としたものづくりに貢献すべく、マシニングセンタ・ポール盤の製造販売並びにメンテナンスを提供する愛知県にある小型工作機械メーカーです。今年で創立 87 年を迎え、豊富な経験と実績により多くのお客様に当社製品を御愛顧頂いてまいりました。

「お客様に選ばれ、喜ばれる商品・サービスを提供する」をモットーに次世代のものづくりに貢献すべく、より付加価値の高い製品を今後もお客様と一緒にになって提供してまいります。

**最近の採用状況** 9 名 うち女性 ( 2 名)

**鹿児島高専卒業生** 有 ( 1 ) 名

分野 L P ガス販売	企業名 株式会社コーナガス日本	住所：霧島市国分下井 2363-4 電話：0995-45-8211 Fax：0995-46-4361 HP : kokubu-ten@koagas-n.co.jp
----------------	--------------------	--



主製品（事業内容）

LP ガスの製造及び販売・ガス器具の販売  
ガスプラントの設計・施工 等

会社の特徴・PR

昭和 30 年鹿児島県川内市（現薩摩川内市）を発祥の地とし、常にガス事業の先駆者として開発と発展に努め、現在業界屈指の総合 L P ガス専門事業会社へと大きく成長しております。

近年、私たちの住環境から自然界への影響までを考えた、広い範囲でのエネルギー対策が社会的な関心を集める中で、より経済的でクリーンエネルギーである L P ガスへの期待が高まっています。コーナガスでは独自の自主保安・自主配送を確立し、いつでも、どこでも、安心して使えるガスをこれまで以上に快適で、誰もがより幸せになれる暮らしづくりの為に日夜努力しています。

最近の採用状況

9名 うち女性（3名）

鹿児島高専卒業生

有（ 7 ）名

分野 照明器具製造 機械部品製造	企業名 国分電機株式会社	住所：霧島市国分川原 1050 番地 2 電話：0995-47-3311 Fax：0995-46-4471 HP : www.kokubudenki.jp
------------------------	-----------------	--



主製品（事業内容）

▶ 照明器具の企画開発・製造  
ダウンライト・スポットライト等  
▶ 自動車等機械部品製造



会社の特徴・PR

(株)大森製作所(現：大阪工場)を母体とし設立された誘致企業。平成 19 年 2 月には母体である(株)大森製作所と合併し、今年で創立 26 周年((株)大森製作所からは創立 45 周年)を迎える。製造品目としては、照明器具(ダウンライト、スポットライト、誘導灯、非常灯)に加え自動車部品の製造もおこなっている。照明器具については OEM 供給ではあるが、メーカー主導ではなく企画・開発から設計、部品加工(プレス板金、鋳造成形、表面処理)、組立、検査という社内設備による一貫生産を実現している。近年では LED 主流となり、電源基盤等の開発にも力を入れている。

平成 25 年、市内 2 カ所となっていた工場を統合し、効率化を進め、国分工場として更なる飛躍を目指している。

最近の採用状況

9名 うち女性（5名） H25 年度

鹿児島高専卒業生

有（ 1 ）名

分野 生コン・砕石AS合材製造業及び運輸業	企業名 株式会社サンコー	住所：志布志市有明町伊崎田 5013番地 電話：099-474-2111 Fax：099-474-2328
--------------------------	-----------------	---



**主製品（事業内容）**

- ▶ 生コン・砕石・砕砂・AS合材製造、建設工事、建設リサイクル、運輸業、倉庫業 等



**会社の概要**

設立／昭和 45 年 5 月  
資本金／3,000 万円  
代表者／代表取締役社長 木村増雄  
従業員数／75 名 うち女性（6 名）  
売上高／24 億（平成 26 年 3 月期）  
支店等／志布志、曾於管内に 4 工場、1 事業所

**会社の特徴・PR**

鹿児島市に本社を置く総合建設業の㈱渡辺組傘下のグループ会社として、大隅地域で生コン製造を中心とした企業展開を行っています。製品目としては、生コン、砕石・砕砂・AS合材、建設リサイクル材製造販売、他、建設工事、コンクリート製品、防火水槽、運輸、倉庫業など。

地域のインフラ整備、資源の再利用や環境保全に貢献出来ることを目指し、信頼のおける製品を社会に提供し続けています。

会社の理念は、「幸福追求」よりよい人生を生きる。

**最近の採用状況**

鹿児島高専卒業生	4 名 うち女性（1 名）
無し	

分野 機械工具製造業	企業名 株式会社 信栄製作所	住所：霧島市溝辺町崎森 2545 電話：0995-64-1221 Fax：0995-64-1258 HP：www.shin-a.co.jp
---------------	-------------------	--



**主製品（事業内容）**

ドリル、リーマ、エンドミル、カッター、スローアウェイ工具等、切削工具の開発、製造

**会社の概要**

設立／昭和 41 年 3 月  
資本金／8,000 万円  
代表者／代表取締役社長 立野 栄司  
従業員数／100 名 うち女性（17 名）  
売上高／11 億（平成 26 年 7 月期）  
支店等／本社（東京）、営業所（愛知）  
海外工場（タイ）

**会社の特徴・PR**

㈱信栄製作所は創立以来特殊切削工具を専門に、自動車をはじめ、エネルギー、航空機、造船、電子関連等、幅広い分野で高い評価をいただいております。工作機械の高速化、高精度化、さらに環境負荷の低減化に伴う、より高能率な特殊切削工具の研究開発に力を注いでいる。また、新たな技術分野への挑戦も行うと共に、グローバル化する社会の中で海外進出を果たし、更に広い分野での競争力を持った事業展開を目指している。

**最近の採用状況**

鹿児島高専卒業生	1 名 うち女性（ 0 名）
有（ 3 ）名	

分野 建築・建設業	企業名 末重建設株式会社	住所：霧島市溝辺町麓 513 番地 1 電話：0995-58-2004 Fax：0995-58-2788 HP：
--------------	-----------------	---



**会社の概要**

設立／昭和 40 年 4 月 8 日  
資本金／2,000 万円  
代表者／代表取締役 末重 墓司  
従業員数／27 名 うち女性（4 名）  
売上高／8 億 7 千万円(平成 25 年度売上)  
支店等／無し

**主製品（事業内容）**

公共土木・建築工事  
民間住宅向け地盤改良工事業(HySPEED 工法)

**会社の特徴・PR**

地元霧島市溝辺町で操業し、平成 27 年度で 50 周年の節目を迎えます。公共事業を中心に地域に根差した事業活動を展開してまいりました。これからも地元の皆様に愛される、地域密着型の企業として誇りを持った活動を通して、次の 50 年を見据えた営業を展開してまいります。目指すは、永久不滅の老舗企業!!

**最近の採用状況** 1 名 うち女性（0 名）  
**鹿児島高専卒業生** 有（1）名

分野 総合建設コンサルタント (測量・設計業)	企業名 株式会社 大翔	住所：鹿児島市千年二丁目 1-1 電話：099-218-3041 Fax：099-220-6201 HP：http://www.daisyoc.jp/
-------------------------------	----------------	--



**会社の概要**

設立／昭和 50 年 8 月  
資本金／1,000 万円  
代表者／代表取締役 西山哲郎  
従業員数／34 名 うち女性（5 名）  
売上高／約 3 億円  
支店等／鹿屋・大隅・南さつま・姶良・東京  
・霧島・奄美・熊毛

**業務内容**

・主に自治体等から発注される公共事業関連の測量、調査、設計、施工監理を行う建設コンサルタント業。

**会社の特徴・PR**

弊社は、昭和 50 年創業依頼、今年で 40 年を迎えようとしている。顧客の要望に応え、地域社会に貢献する企業を目指して、真に地方を守り育てる人材の登用、育成を積極的に推進するとともに、技術革新や研鑽に努め、将来ともに「真に豊かな活力ある鹿児島」の実現を図ることを社是とし、道路、河川、砂防、急傾斜、公園、橋梁、農業農村整備及び J I C A 関連の海外業務等を受託している。

**最近の採用状況** 3 名 うち女性（2 名）  
**鹿児島高専卒業生** 有（2）名

分野 総合 エネルギー業	企業名 <b>太陽ガス株式会社</b>	住所：日置市伊集院町徳重 11 電話：099-273-2651 Fax：099-273-2678 HP : <a href="http://www.taiyo-gas.or.jp/">www.taiyo-gas.or.jp/</a>
--------------------	------------------------	---



**主製品（事業内容）**

▶LPガス（一般家庭用・業務用・工業用）供給、  
リフォーム事業、新エネルギー推進事業 等

**会社の特徴・PR**

【エネルギーの BestMix】を合言葉に、約 40 名で操業しております、日置市周辺地域への約 40 年にわたる LPガスの供給をはじめ、水周りのリフォーム事業、また、地産地消を目的とした再生可能エネルギー利用設備の設計・施工を、ひおき小水力発電推進協議会(以下、協議会)等と共に進めております。

現在は発電ボテンシャルを持つ地点への、小水力発電水車の選定から、設計までを行うことを目指しております、協議会を通じ、日置市・鹿児島高専と連携し、クロスフロー水車の実証実験も行っています。将来的には様々な仕様の水車発電機メーカーを目指します。

**最近の採用状況**

3名 うち女性 (0名)



**鹿児島高専卒業生**

有( 1 )名

分野 土木計測用機器製造	企業名 <b>東亞エルメス株式会社</b>	住所：鹿屋市田淵町 1475-4 電話：0994-48-2763 Fax：0994-48-2764 HP : <a href="http://www.elmes.co.jp">http://www.elmes.co.jp</a>
-----------------	--------------------------	---



**主製品（事業内容）**

光る変換器 LEC-II（左写真）など土木現場で  
使用される計測機器の製造・販売・据え付け

**会社の特徴・PR**

神奈川県にある㈱東横エルメスの鹿児島事業所として  
開所後、平成 11 年に分社し現社名となる。主な取引先は  
大成、鹿島建設などのスーパーゼネコン。

最近では神戸大学、大阪大学とも安全・安心・防災につ  
いて共同研究に参加するなど活動している。

研究開発型の企業であるため電気、機械、ソフト、土木  
と多岐にわたる技術者が在籍している。

**最近の採用状況**

2名 うち女性 ( 0 名)

**鹿児島高専卒業生**

有( 2 )名

分野 自動車部品設計業	企業名 株式会社トヨタ車体研究所	住所：霧島市国分上之段 395 番地 1 電話：0995-48-2800 Fax：0995-48-2815 HP : <a href="http://www.toyota-bodyrad.co.jp">http://www.toyota-bodyrad.co.jp</a>
----------------	---------------------	---



#### 主製品（事業内容）

自動車部品・付属品の設計・試験  
コンピューターソフトウェア開発等

#### 会社の特徴・PR

当社は、トヨタ車体㈱(本社：愛知県)の 100%子会社として平成 2 年 4 月に創立しました。主な業務は自動車ボデ一部品の設計・評価で全体の 8 割をしめています。

創設の基本理念である「技術開発力のある企業」をめざし、開発業務を効率的に行うため、当社では最新の技術情報システムと通信ネットワークを導入し距離のハンディを排除し、一方、「地域貢献ができる企業」をめざし、地元での採用による雇用拡大や地元取引先からの調達及び生産管理面での指導等、さまざまな企業活動に取り組んでいます。

#### 会社の概要

設立／1990 年(平成 2 年)4 月 26 日  
資本金／3.03 億円 (トヨタ車体㈱100%出資)  
代表者／代表取締役社長 田中 泰  
従業員数／417 名 うち女性 (58 名)  
売上高／45 億円 (2013 年度実績)  
支店等／愛知県刈谷市

#### 最近の採用状況

10 名 うち女性 ( 0 名)

#### 鹿児島高専卒業生

有( 30 )名

分野 金属製品製造業	企業名 株式会社 南光	住所：鹿児島市七ツ島二丁目 1 番地 電話：099-263-0888 Fax：099-261-0909 HP : <a href="http://www.nanko.co.jp">www.nanko.co.jp</a>
---------------	----------------	--



#### 主製品（事業内容）

▶ 建築金物設計・製作・施工  
半導体・太陽光・液晶関連  
製造装置製作・組立 等



#### 会社の特徴・PR

昭和 46 年、鹿児島市新栄町に産声をあげた当社は、様々な試行錯誤を繰り返しながらも、お客様の要求である商品のコストダウン・納期の短縮化・精度の高度化・発注の小ロット化に対応し、部品の加工から完成品の塗装にいたるまで全てを自社工場で行っています。

モノづくりにおいては、「トヨタ生産方式」の考え方を導入し、自社にあった生産方式を考え『よりよい品をより安く、より早く生産出来るものづくり』を常に心がけています。10 年後 20 年後に今まで以上に『世の中に必要とされる会社』を目指しています。

#### 会社の概要

設立／昭和 46 年 5 月 1 日  
資本金／10,000 万円  
代表者／代表取締役社長 上田平 孝也  
従業員数／195 名 うち女性 (20 名)  
売上高／27 億円 (平成 26 年 4 月期)  
支店等／鹿児島県・宮崎県に 6 工場

#### 最近の採用状況

8 名 うち女性 (1 名)

#### 鹿児島高専卒業生

有( 2 )名

分野 食品製造業	企業名 <b>日本澱粉工業株式会社</b>	住所:鹿児島市南栄三丁目 20 番地 電話:099-269-1011 Fax:099-284-5225 HP : <a href="http://www.sunus.co.jp">http://www.sunus.co.jp</a>
-------------	--------------------------	---



**会社の概要**

設立／昭和 13 年 5 月 7 日  
資本金／1 億 2,500 万円  
代表者／代表取締役会長兼 CEO 本坊 治國  
代表取締役社長兼 COO 比良 正  
従業員数／383 名 うち女性 (142 名)  
売上高／206 億円(平成 26 年 3 月期)  
支店等／東京支店、福岡支店、大阪営業所

**主製品（事業内容）**

コーンスターチ、さつまいも澱粉、加工澱粉、異性化糖、水飴、ぶどう糖、漬物、はるさめ、葛きりの製造・販売

**会社の特徴・PR**

私たち日本澱粉工業（株）は、今年で創業 77 年目を迎えました。創業当時から取組む澱粉製品に加え、糖化製品では飲料用、冷菓用、製パン用から、ビール系飲料用や医薬品用に利用される製品も手がけています。また、当社で販売している漬物、はるさめ、葛きりは、昨今の消費者の食品に対する安全性の要求に応えるよう、より優れた品質と安全の高い商品づくりに情熱を注ぎ、お客様に満足して頂ける体制を整えています。常に進化発展する会社を目指して、社は「生き生きと」のもと、働きやすい環境づくりに力を入れています。

最近の採用状況	13 名 うち女性 (3 名)
鹿児島高専卒業生	有 (1) 名




分野 機械設計 ／開発	企業名 <b>株式会社隼人テクノ</b>	本社：霧島市隼人町姫城 2251-2 事業所（鹿児島高専内） 電話&Fax: 0995-73-7620 HP :
-------------------	-------------------------	---



**会社の概要**

設立／平成 17 年 5 月 12 日  
資本金／305 万円  
代表者／代表取締役社長 桐野 弘城  
従業員数／6 名 うち女性 (1 名)  
売上高／345 万円(平成 26 年 3 月期)  
事業所／鹿児島高専地域共同テクノセンター内

**主製品（事業内容）**

- 枝払いロボットを活用したワシントン椰子剪定作業
- 機械機器等の設計、規格、開発に関する技術コンサルティング及びマネジメント業務

**会社の特徴・PR**

鹿児島高専発ベンチャー企業として、教職員、卒業生等の出資により、平成 17 年に設立した。

設立の経緯は、鹿児島高専学生が、南国地域に多く植栽しているワシントン椰子の枝払いにロボットを活用するアイディアで、平成 13 年に学生ベンチャービジネスプランコンテストに応募し、最優秀賞を受賞した。この枝払いロボットを鹿児島高専と地域企業との産学共同研究で開発し、当社はこれを事業化するために、設立した。

現在ワシントン椰子枝払い業務のほか、事業内容の拡大を図り、工作機械の最適設計を目的にした設計開発業務にも取り組んでいる。

最近の採用状況	1 名 うち女性 (1 名)
鹿児島高専卒業生	有 (1) 名

分野 卸小売業	企業名 富士ゼロックス鹿児島株式会社	住所：鹿児島市下荒田 1-1-1 電話：099-254-4222 Fax：099-250-4525 <a href="http://www.fujixerox.co.jp/kgx/">http://www.fujixerox.co.jp/kgx/</a>
------------	-----------------------	--



#### 会社の概要

設立／1988年3月22日  
資本金／3,000万円  
代表者／嶋田 光邦  
従業員数／139名 うち女性（22名）  
売上高／45億（平成26年3月期）  
支店等／県内6営業所

#### 主製品（事業内容）

- ✓デジタル複合機、パソコンプリンター、ネットワークシステム関連商品等の販売、およびメンテナンス
- ✓オフィス用品、消耗品のオンライン販売

#### 会社の特徴・PR

近年、ITの進化に伴い、オフィス環境、文書管理のあり方、そしてクラウドコンピューティングへの進展によりスマートデバイスを活用する機会が増え、ワークスタイルも大きく変化しています。

このような中、特にドキュメントとコミュニケーション領域の課題解決でお客様が価値創造活動を円滑にできるよう、より地域に密着したお手伝いを行っています。

私が目指す企業像は「富士ゼロックスらしいソリューションで人々と感動を共有できる企業へ」このビジョンの実現に向けてよい・やさしい・おもしろい会社づくりに努めています。

#### 最近の採用状況

2名 うち女性（0名）

#### 鹿児島高専卒業生

有（4）名

分野 高精度精密板金加工業	企業名 株式会社 藤田ワークス	住所：霧島市上野原テクノパーク 12-18 電話：0995-46-6100 Fax：0995-46-7364 HP： <a href="http://www.fujitaworks.com">http://www.fujitaworks.com</a>
------------------	--------------------	---



#### 主製品（事業内容）

- 精密板金加工（ステンレス、鉄、アルミ、チタン、ニッケル）  
・半導体製造装置部品 ・化学プラント装置部品  
・FPD・PV 製造装置部品 等

#### 会社の特徴・PR

私たちは2つの大きな財産を持っています。ひとつは高精度精密板金のパイオニアとして地道に積み上げてきた経験に基づく技術力。もうひとつは、既成の枠にとらわれないオリジナルの発想力です。お客様のオーダーに対し、オーダー通りの製品を提供することは大切ですが、その完成度が想像の範囲内ならば、そこに感動は生まれません。技術と発想という2つの力を有機的に連携させ、期待値のさらに上を行く高品質、高付加価値の製品を提供し、お客様に感動を与えることが私たち藤田ワークスのオリジナリティです。

#### 最近の採用状況

2名 うち女性（1名）

#### 鹿児島高専卒業生

有（3）名

分野 :建設（機械器具設置） :製造業（配管・製缶品）	企業名 株式会社プランテムタナカ	住所：鹿児島市七ツ島一丁目 1-26 電話：099-262-1201 Fax：099-262-0333 HP : <a href="http://www.plantem-tanaka.co.jp">www.plantem-tanaka.co.jp</a>
-----------------------------------	---------------------	--

主製品（事業内容）



上水道浄水機器製作及び据付工事、下水道処理機械製作及び設備工事、ポンププラント設計・施工、烟かん用揚水・加圧機場設備工事、大型排水機場設備工事、ゲート・除塵機製作及び据付工事、圧力タンク・各種製缶設計製作据付、クレーン設計・製作・施工、各種機械オーバーホール、精密機械加工、各種ステンレス製品製作

会社の特徴・PR

弊社は、水（上下水道・農業用水・排水機場設備）に関わる機械器具・鋼製品の設計、製作、施工、メンテナンスを主に行って居ります。

官公庁（元請・下請）の仕事を主体に行って居り、鹿児島県を初め、宮崎・熊本・福岡等の施工も行っています。

資格取得を推奨して居り、該当する資格に手当を支給します。  
入社後も新しい資格取得を目指す人を歓迎します。

会社の概要

設立／昭和 23 年

資本金／3000 万円

代表者／代表取締役 田中義郎

従業員数／ 31 名 うち女性（7名）

売上高／ 503 百万円

支店等／本社のみ

最近の採用状況 3名 うち女性（0名）

鹿児島高専卒業生 有( 3 )名

※最近の施工工事及び製品の案内



合成起伏堰(SR ゲート)  
施工



排水機場向けポンプ回転体  
修繕



圧力タンク 8.1m3  
設計製作

自動省力化機械	企業名  <b>マトヤ技研工業</b> 株式会社	住所：曾於市末吉町南之郷 3050-6 電話：0986-76-0018 Fax：0986-76-2729 HP : <a href="http://www.matoya.com">www.matoya.com</a>
---------	--	---

主製品（事業内容）

食肉生産機器、自動車部品生産機器

電子部品生産機器



会社の特徴・PR

創業以来、ニッチな分野で世界の「オンリーワン」企業を目指し、絶え間ない商品開発を続けており、その結果、23 件の実用新案・特許を取得、グローバルな視点に立ち、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、オーストラリア、タイ、韓国、中国など、多くの国に食肉生産機械を直接輸出している。

また、自動車業界、電子部品業界にも、国内外に多くの機械を販売しており、今後は、今まで以上に、グローバル社会に躍進していくために、人材の確保が、最優先課題であると考えている。

会社の概要

設立／平成 2 年 4 月 16 日

資本金／2,000 万

代表者／代表取締役 益留福一

従業員数／ 39 名 うち女性（ 5 名 ）

売上高／5~6 億

支店等／東京営業所、大阪営業所

最近の採用状況 3 名 うち女性（ 2 名 ）

今年の採用予定 5~6 名

鹿児島高専卒業生 有( 0 )名、都城高専卒 3 人

分野 総合建設業	企業名  丸福建設 株式会社	住所：鹿児島市易居町 4 番 3 号 電話：099-222-5105 Fax：099-222-5226 HP : <a href="http://www.marufuku-civil.co.jp">www.marufuku-civil.co.jp</a>
-------------	--	--



**会社の概要**

設立／昭和 24 年 1 月 30 日  
資本金／5,000 万円  
代表者／代表取締役社長 谷口 明広  
従業員数／96 名 うち女性 (7 名)  
売上高／46 億円 (平成 26 年 5 月期)  
支店等／薩摩川内市、奄美大島、屋久島

**主製品（事業内容）**

- 建設業（土木・建築）  
アスファルト合材製造販売  
産業廃棄物処理業

**会社の特徴・PR**

弊社は、鹿児島市に本社を置く創業 65 年の建設会社です。創業以来、道路・河川・砂防・トンネル・港湾・土地造成など一貫して土木工事を主とした事業活動を進めてまいりました。その間、新技術の積極的活用、新時代にあったシステムへの転換など常に挑戦する気持ちを堅持し、社是である『人の和と技術の向上』をベースとした企業活動を全社一丸となり進めてまいりました。また、品質・環境・労働安全衛生のマネジメントシステム国際規格 ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 のシステム構築・認証取得は自社独力で成し遂げ、企業成長のツールとしてフルに活用しています。これからも『安全・確実・快適』をモットーに災害に強く安心して暮らせる明るい未来に向けた社会基盤づくりに努めてまいります。

**最近の採用状況** 2 名 うち女性 (1 名)

**鹿児島高専卒業生** 有 ( 4 ) 名

分野 商社	企業名 株式会社 Misumi	住所：鹿児島市御本町 7-20 電話：099-260-2218 Fax：099-260-2224 HP : <a href="http://kk-misumi.jp/">http://kk-misumi.jp/</a>
----------	--------------------	--






**会社の概要**

設立／昭和 34 年 2 月 2 日  
資本金／16 億 9,089 万 9,985 円  
代表者／代表取締役社長 岡 恒憲  
従業員数／488 名 うち女性 ( 80 名)  
売上高／65,111 百万円 (平成 26 年 3 月期)  
支店等／約 200 (鹿児島/熊本/宮崎/大分/福岡)

**主製品（事業内容）**

- ◎石油製品、LPG ガスおよび器具の卸・小売
- ◎太陽光発電や燃料電池等の各種省エネ・創エネ機器の販売

**会社の特徴・PR**

- Energy…石油・ガス事業
- Lifestyle…カルチャー、カーライフ、ハウジング事業
- Food & Beverage…外食、ミネラルウォーター事業

3つの事業領域を中心に お客様の暮らしに必要な商品・サービスを提供しています。  
地域のお客様とともに、夢のある生活文化を創りだす一番身近な存在として「夢に、前向き」な挑戦を続けています。

**最近の採用状況** 13 名 うち女性 (4 名)

**鹿児島高専卒業生** 有 ( 9 ) 名

分野 一般機械器具製造	企業名 <b>三豊機工株式会社</b>	住所：南九州市川辺町清水 1542-1 電話：0993-56-5511 Fax：0993-56-5058 HP： <a href="http://www.mitsutoyo.co.jp/">http://www.mitsutoyo.co.jp/</a>
----------------	------------------------	---



**会社の概要**

設立／昭和 40 年 6 月 1 日  
資本金／3,840 万円  
代表者／代表取締役 舟橋佳孝  
従業員数／210 名 うち女性 (30 名)  
売上高／31.8 億円 (平成 26 年 1 月期)  
支店等／本社・三豊機工春日部・USA (シカゴ)

**主製品（事業内容）**  
冷間圧造工具の総合メーカー  
**会社の特徴・PR**

本社は愛知県春日井市にあり、今年創業 50 周年を迎えた。鹿児島工場は平成 3 年に操業。数々のオリジナル製品を開発し、冷間圧造業界の発展に寄与。経済産業省の『元気なモノづくり中小企業 300 社』にも選出される。鹿児島工場は素材から機械加工・熱処理・研磨・仕上げ・表面処理 (PVD)・全完成までを 500 台所有する設備で一貫生産している。主に自動車用ボルト・ナット・パーツ等の生産用金型を製造しており、主力製品の割り型『ダブルヘックス』は国内シェア 70% を有する。次世代製品として宇宙・航空機分野への開発にも取り組んでいる。

**最近の採用状況**  
10 名 うち女性 (4 名)  
**鹿児島高専卒業生**  
無 ( )名

分野 審査 サービス	企業名 <b>南日本審査株式会社</b>	住所：姶良市西餅田 3344-2 電話：0995-64-5727 Fax：0995-64-5078 HP： <a href="http://www.minami-sinsa.com">www.minami-sinsa.com</a>
------------------	-------------------------	---



**会社の概要**

設立／平成 18 年 12 月 1 日  
資本金／10 万円  
代表者／篠田 照明  
従業員数／3 名 うち女性 (1 名)  
売上高／2000 万円  
支店等／なし

**主製品（事業内容）**  
ISO 等マネジメントシステムの審査及び教育  
**会社の特徴・PR** <安くて便利で安心な ISO 審査会社です>  
いくつもの審査機関と連携し鹿児島の地から ISO 等審査業務を提供しています。  
地元にあるため審査機関との距離感なく多くの疑問やご相談に応じていますので、受審企業にとっては安くて便利で安心な ISO 等審査会社となっています。

**最近の採用状況**  
0 名 うち女性 ( )名  
**鹿児島高専卒業生**  
有 (0) 名

分野	企業名	住所：鹿児島県霧島市隼人町西光寺2427-31 電話：0995-43-4341 FAX：0995-44-8081 H P : ypk.yupiteru.co.jp
電気機械器具製造業	株式会社 Y P K	



深い洞察と豊かな柔軟性で  
お客様の満足する製品を  
提案し続けます

**主要製品**

- ・レーダー探知機
- ・エンジンスターター
- ・ドライブレコーダー
- ・ゴルフナビ
- ・スイングトレーナー
- ・サイクルコンピューター



自動車 CAR PRODUCTS



ゴルフ GOLF PRODUCTS



バイク BIKE PRODUCTS



サイクル CYCLE PRODUCTS

**会社概要**

設立/平成18年10月  
資本金/ 5,000万円  
代表者/ 代表取締役 遠藤定義  
従業員数/ 173名 うち女性 (100名)  
売上高/ 45億円 (平成26年3月期)  
関連会社/ 株式会社ユピテル

**会社の特徴**

株式会社ユピテルは、「マイクロ波技術」と「無線通信技術」の事業拡大に向け、基幹技術の進化と独自のモノ造りを実現するため 株式会社YPK を設立しました。自己完結型生産拠点を目指し、お客様に信頼され選ばれる企業、継続的な人材育成を通して地域社会にも貢献し続ける企業をめざします。

**鹿児島高専卒業生 有 (3名)**



発行：平成26年11月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

## 鹿児島工業高等専門学校

National Institute of Technology, Kagoshima College

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝1460-1

TEL 0995-42-9038

E-mail : [kikaku@kagoshima-ct.ac.jp](mailto:kikaku@kagoshima-ct.ac.jp)